

消費税
5%に
インボイス廃止

市議会
議員

加増みつ子
遠山ちえ子
本田かずなり

明るい取手

2025年1月19日号

発行：日本共産党取手市委員会

◆日本共産党取手市委員会の見解を紹介します。

302-0011 茨城県取手市井野 3 - 19 - 5

☎ 0297-72-7816 Fax 72-7817

https://jcptoride.com



2025年 参院選

自民党政治に代わる新しい政治を

腐敗政治、経済無策、戦争国家づくり、人権後進国…
自民党政治の全体が末期的な状況

国民の切実な要求の実現のためにあらゆる可能性を追求する

いよいよ1月24日から通常国会が始まります。昨年の総選挙で自公が少数与党となり、国民の声を無視して悪法を強行採決することが出来なくなりました。選択的夫婦別姓制度、国としての給食費無償化、大学の学費値上げストップなど、野党が一致すれば、国民の切実な要求を実現できる条件が生まれてきたのです。

比例代表5議席確保、茨城から 高橋さんを国会へ

今年7月には参議院選挙があります。新しい政治の流れを作るチャンス、その決定的な力になるのが日本共産党の躍進です。比例代表5人の議席の絶対確保、茨城選挙区での高橋さんを国会に送り出すためみなさんのご支援ご協力をお願いいたします。

日本共産党の躍進・勝利で

はたやま 和也



日本共産党参議院比例予定候補者（北海道・東北・北関東担当）
1971年宮城県生まれ、宮城教育大卒、苫小牧で中学教師、
2014年衆院選で比例北海道ブロックから初当選。
現在党中央委員、北海道委員会副委員長

●私の活動地域は、農林漁業が基幹産業という地域が多くあります。紙智子さんの実績をしっかり受け継いで頑張りたい。軍事費大盤振る舞いの政治から暮らしや農業、地域経済の予算を増やす政治への転換を。そして北海道、東北、北関東から「原発ゼロへ」といううねりを広げたい。

高橋 誠一郎



日本共産党参議院茨城選挙区予定候補者
1994年大分県生まれ
茨城大卒
元しんぶん赤旗記者
現在党県常任委員、政策委員長

●昨年は、衆議院茨城1区候補として県内駆け巡り訴えてきました。今度は参議院茨城選挙区の予定候補者として全力疾走の毎日です。「誰もが幸せになる権利がある」をモットーに子育て世代も働く人も老後も安心の茨城を、と熱く訴えています。特に、東海第二原発廃炉、大学の学費の値上げストップ、軽減、無償化のために頑張る決意です。

参院比例		はたやま 和也 元衆院議員 北海道 東北・北関東 新		小池 晃 党書記局長 参院議員 東京・南関東 現		井上 さとし 参院議員 北陸信越 東海・京都 現		山下 よしき 党副委員長 参院議員 大阪・兵庫・滋賀 奈良・和歌山 現		白川 よう子 元香川県議 中国・四国 九州沖縄 新 (第一次)
------	--	--	--	--------------------------------------	--	--------------------------------------	--	--	--	--

参議院 比例代表は **日本共産党** と 政党名で 制度解説
個人名でも投票できます



日本共産党 市議会議員新年の 活動スタート

市内各地で議会報告・
懇談会

新年あいさつと参院選で日本共産党への支援を
訴える遠山・本田・加増議員=1月8日、戸頭

日本共産党加増みつ子・遠山ちえ子・本田かずなり議員は、年明け早々から挨拶訪問・早朝の駅頭・市役所前で「明るい取手」配布、街頭での新年あいさつなど新年の活動をスタートしました。

3人の党議員は13日の青柳を皮切りに、15日、19日、それぞれ小文間・井野、東・台宿、戸頭、藤代など地域ごとに党支部・後援会主催で行われる

議会報告とつどいに参加しています。16日には市民とともに、整備後の取手駅西口交通広場と再開発事業予定地等の現地調査も計画し、26日には、党市議団そろって市民要望を聞く・懇談会も予定しています。

今年も市民との共同を広げ、給食費無償化や介護・医療の充実と負担の軽減など全力を尽くします。

7月参院選 2025

日本共産党

新春のつどい

2月1日(土)

午後2時開会 (開場1時半)
取手福祉交流センター(市役所前)

ご挨拶
高橋 誠一郎さん
党市議会議員

落語
浮世亭小凡

『A街区再開発』2月都市計画決定見合わせか

取手駅西口開発

昨年秋、取手駅西口交通広場の整備が完了し、仮設交通広場（A街区）の再造成により、32年間続いた市施行の区画整理事業は実質終了。11月には、A街区の土地利用は地権者に戻されました。20人から8人に参加地権者が減少した「A街区再開発業」（民間施行）の都市計画決定案に関して市民説明会や、公聴会も開かれました。新年早々計画案の縦覧とそれに対する意見書の受け付けも行われてきました。



造成工事を終えたA街区、土地利用は地権者に戻された。右奥にウェルネスプラザ、手前低地が再開発不参加区域、奥の高台から低地迄再開発事業用地（1月14日撮影）

さらなる見直し避けられず

公共施設導入を含む事業計画と、説明責任も果たさないトップダウンの市の事業推進姿勢への批判は強く、市民合意に至っていません。事業自体の問題に加え建設資材暴騰などの影響で、2月都市計画

決定を前にさらなる見直しを迫られていると思われます。日本共産党は、民間の新再開発事業ビルへの公共施設導入中止、再開発事業は見直すことを求めています。

再開発って？

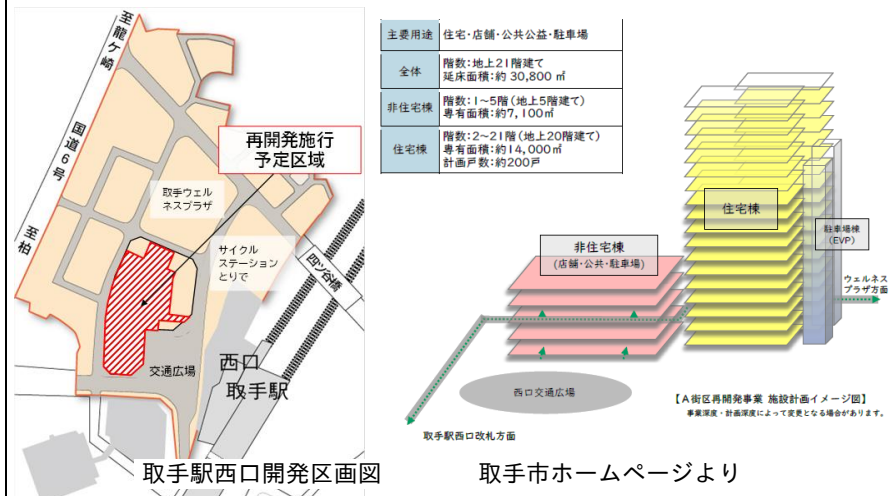
都市計画法は、第1条に「公共の福祉の増進に寄与することを目的とする」ことを定め

再開発事業の実施には取手市の都市計画として定める為、決定権者は取手市になります。

（都市計画法第15条及び、都市計画法施工令第10条）

取手駅西口「A街区市街地再開発事業に関する経緯」

- 2011年 市の最上位計画（基本構想）違反の「取手駅北土地利用構想」策定（取手駅西口前の位置づけを「商業・文化」から「健康・医療・福祉」ゾーンに変更）（藤井市長当時）
- 2013年 開発手法不明のままA街区の建物移転解体始まる
- 2016年 「A街区共同化事業検討会」設立（取手市主導）
- 2017年 A街区事業計画立案支援業務委託報告書により「取手駅西口A街区再開発基本構想」策定（取手市）
- 2019年 再開発事業準備組合設立（準備組合への市補助金支出始まる）
- 2021年 「市街地再開発事業」都市計画決定を予定するも遅延
- 2022年 「本組合設立認可」予定も遅延
- 2024年 区画整理事業A街区の工事関係完了、土地利用は地権者に移行、年内の都市計画決定遅延
- 2025年1月現在 相次ぐ事業費暴騰、事業計画同意も困難に直面、2月予定の「A街区再開発」の都市計画決定はなお不透明



2016年度から、民間業者（指定管理者）に委託して運営されていた守谷中央図書館は、2019年4月から市直営に戻った。「守谷の図書館を考える会」の地道な活動が、市民を動かし、市議会を変えたのだ。取手市より人口は少ないが、市の図書館への思い入れは注目に値する。図書館統計を見ていただくと一目瞭然だ。人口一人当たりの資料費（図書購入費）は527円と抜きんで高い。比べて、取手市の図書館予算の減少が気になる。

「駅前の賑わいを取り戻すために取手図書館を廃して駅前に移転する」構想に見られる哲学・理念の貧困は、取手市民にとって誠に不幸なことだ。「図書館で読んだり、情報を得て活動する市民が増えて、社会全体が成熟」することこそ、取手市の発展につながるのではないのか。取手市は図書館をもっと大切にしてもらいたいものだ。（遠藤俊夫さんご協力によるシリーズ「駅前開発と図書館を考える」は今回で終了させていただきます。）

駅前開発と図書館を考える シリーズ⑦
図書館運営を民間委託（指定管理者）から直営にもどした守谷市
図書費は取手市の約2倍

駅前開発を考える会 遠藤俊夫

	取手市立図書館		守谷中央図書館	土浦市立図書館 (H29.11駅前建設)
	取手図書館	ふじしろ図書館		
延べ面積	1528㎡	2264㎡	3523㎡	5118㎡
図書館費（R4度決算）	267,604千円		184,136千円	324,604千円
図書費（資料費）（R4度決算）	29,225千円		35,783千円	36,005千円
図書費（R5度予算）	157,152千円		210,380千円	377,916千円
図書費（資料費）（R5度予算）	29,038千円		36,913千円	35,376千円
入館者数（R4度）	230千人		249千人	478千人
人口（奉仕人口）（R5.4.1）	106千人		70千人	142千人
奉仕人口1人当たり資料費（R5度予算）	273円		527円	249円
資料総数（R5.3.31）	220729点	143724点	444022点	492,221点
参考業務（レファレンスサービス）（R4年度）	2077件	2620件	7673件	248件

図書館統計資料（『茨城の図書館』より作成）